授業科目	臨地実習Ⅲ(2022 年度入学生)					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	3～4	開講時期	後期・前期
担当教員	坂田　郁子						
授業概要	本科目は、学外での実習を授業の中心に位置づけ、実務体験を通した実践的教育から構成されている。 １．保健所、あるいは市町村保健センターにおける実習：学内で修得した知識・技術を、保健・医療・福祉・教育等の連携により展開されている実践活動の場において適用し、管理栄養士に必用な専門の知識や技術の統合を図る。また、公衆栄養活動で必要とされる課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントを行うことができる総合的な能力を身に付ける。 ２．実習期間：保健所、市町村保健センターのいずれかにおいて　１週間の臨地実習を行う。 ３．事前指導・事後指導：実習期間と別日程で、実習がより効果をあげるよう事前学習・実習報告会を行う。						
授業形態	実習・演習			授業方法	アクティブラーニング(フィールードワーク､実習)		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．保健所・市町村保健センターの性格を理解し、行政管理栄養士の業務について説明できる。（DP1-1，DP1-2，DP2-1，DP3-1，DP4-1，DP5-1） ３．多職種との連携を図ることができる。（DP1-2，DP2-1，DP3-1，DP4-1，DP5-1） １）実習先となる地域の特性を理解し、実際に行われている公衆栄養プログラムの成り立ちについて説明することができる。 ２）対象者に応じた、栄養教育授業を適切に実施することができる。
理想的レベル	１）実習先の地域診断を行い、発見した課題から公衆栄養プログラムの立案までを PDCA サイクルに基づき、具体例を用いて解説することができる。 ２）管理栄栄養士以外の多職種との連携の具体的な内容について理解し、実践することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	40%	
その他	60%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT32303J
学習課題（予習・復習）										１回の学習目安（時間）	

地域の現状および実態把握を既存資料および実習先地域のホームページ内資料によ実習ノートにまとめる。 実習施設から指示された事前課題に取り組む。	1

授業計画	
第１回	各保健所・保健センターにおける実習(1) 実習先施設が計画したスケジュールに従う
テキスト	「ウエルネス公衆栄養学(2022 年版）」加島浩子，森脇弘子編（医歯薬出版） 「管理栄養士・栄養士必携」（2020 年度版）公益社団法人 日本栄養士会 編（第一出版） 臨地実習ノートは別途配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・「国民衛生の動向」（厚生統計協会） ・厚生労働省、及び、実習施設関連のホームページ
課題に対するフィードバックの方法	実習ノート及び実習課題は添削後返却する。
学生へのメッセージ・コメント	臨地実習 3 は管理栄養士になるために必要な教科です。 公衆栄養学 1 および 2，地域栄養活動論，公衆栄養学実習のテキストおよび授業内容をよく復習して臨む。 厚生労働省や実習施設、関連施設のホームページをよく見て、実習施設に関する理解も深めておく。 また、実習先において栄養指導の機会を設けていただけることがあるので、疾病の一次予防の理論（臨床栄養学等）についても復習しておく。 近隣で行われる健康フェアなど普及啓発活動に日頃から目を配り、積極的に参加しておく。 また、自宅近くの保健所・保健センターに出向き、フリー配布のリーフレット等有用な情報を事前に収集しておく。